

## 立地適正化計画策定委員会 意見対応表

No.	前回該当頁	意見	今回該当頁	対応
1	1-1	「維持・充実を図る公共交通網の設定」とあるが、充実を図ることは実態として難しいため改められないか。	1	削除した。ただし、本計画全体においては、多摩都市モノレールの延伸及びそれに合わせたバス網等による充実を見据えた計画としている。
2	1-3 他	「コンパクト・プラス・ネットワーク」の表記を都市再生特別措置法に基づき統一したほうが良い。	4	修正した。
3	1-3	東京都の上位計画は正式な名称で表記すること。	4	修正した。
4	2-10、2-23	交通手段の利用現況では、近隣の市町と比較して、自動車利用の割合が高いという特徴を、多摩都市モノレールの延伸などを踏まえて考察できると良い。 また、医療施設の分布では、医療センターと診療所では市民感覚が異なる部分もあると思うので、その辺りの考察を加えられると良い。	12、22	鉄道・地下鉄の分担率が平均より大幅に低いのは、鉄道駅がない影響であることを追記した。 また、診療所のみでみると、利用圏域から外れるエリアはさらに広がることを追記した。
5	4-3	より俯瞰的な視点から沿線のまちづくりの全体像や、各駅周辺における将来像の実現に向けた方針をもう少し加筆できると良い。	45	「(仮称) 多摩都市モノレール沿線まちづくり方針」で示しているまちづくりのテーマや方針を記載した。
6	4-11	駐車場付きの飲食店も誘導施設としてはどうか。	43	沿道には引き続き駐車場付きの飲食店は必要ではあるものの、「歩いて暮らせるまち」の実現に向けた計画であることから、飲食店（駐車場付き含む）は地域施設として整理した。
7	4-13	「都市機能誘導区域の縁辺部」という表現を使うと誤解を招きかねない。モビリティハブについては多摩都市モノレール沿線まちづくり方針の記載とも整合を取ること。	48	シェアサイクルなどのシェアリング型モビリティサービスを集約した施設としての記載に修正した。
8	5-6	人口密度の色塗りは暖色系と寒色系が混ざっており、いずれかに統一した方が見やすい。	60	修正した。

No.	前回該当頁	意見	今回該当頁	対応
9	5-7	「人口増減に対して大きく影響を及ぼす施策や出来事などが起こらず、現状が推移した人口である」と書かれており、誤解を招きやすい記述である。	なし	削除した。
10	6-2	施策の想定される事業・取組等の中に、例えば、土地区画整理事業など、ハード整備に関する内容は入れておいた方が良い。	66	都市核土地区画整理事業の推進を追記した。
11	6-4	単なる駅前広場整備ではなく、利用者側と担い手側が双方に利用しやすい駅前広場のイメージができるような説明を加えられると良い。	66	駅前広場を含めた駅前空間に関しては、今後市民や事業者等との意見交換などにより検討していくこととしている。
12	6-4	公共交通の担い手確保の施策も入れてほしい。	109	協働まちづくりにより、将来のまちづくりの担い手や生活サービスを支える人材を育むことを記載した。
13	7-29	内水に関する課題については、内水浸水被害のタイプを踏まえてもう少し具体的にまとめると良い。	100	雨水排水施設の設置などの計画的な推進、全市的な住宅への内水浸水対策を課題として記載した。
14	8-1	注釈等でアンケート調査対象者の説明を入れると良い。	107	「武蔵村山市市民意識調査」が出典である旨を記載した。
15	8-1	モノレールの事業化の目途が立った時に良い方向での見直しをしていくことを込めておくと良い。	108	「モノレール延伸のスケジュールに応じて評価時期を柔軟に変更し、～適切な方向に開発・整備が向かうよう見直しを行い、～」に修正した。